

平成23年度事業報告書

はじめに

平成23年度は、本学が創立100周年を迎えた年であり、平成23年11月11日に開催した記念式典を始めとする創立100周年記念事業に担当者だけでなく教職員が一丸となって取り組んだ。

平成23年10月11日、記念行事の最初は大阪市福島区野田4丁目の野田緑道に発祥の地・記念碑を設置し、除幕式を執り行った。10月29日からは楠葉学舎4号館において「歯科医学の歴史的資料展示室」を開館した。11月11日には、創立100周年の記念慰霊祭、記念式典、祝宴を大阪国際会議場ならびにリーガロイヤルホテル大阪で開催した。翌12日には、記念講演会をリーガロイヤルホテル大阪で開催した。また、記念事業の一環として「創立100周年記念館」建設を目的とする記念事業募金、大学100年史等の記念出版物に取り組み、「創立100周年記念館」建設委員会を立ち上げた。

一方、私立歯科大学を取り巻く厳しい状況に対応するため、学生教育への注力を継続して展開し、「五つの力（りょく）の目標」である①募集ブランド力の回復、②学力の向上、③教育力の向上、④人間性涵養力への注力、⑤教員人材育成力への注力に加え、平成23年1月に「三つの力」の追加目標を立て、平成23年度から、①学生の国際交流力増強、②大学院力の増強、③研究力の向上を図った。

大学の運営にあたっては、教育、研究、診療の三本柱を基本に据え、両専門学校との連携により総合的な歯科医学教育機関、歯科医療機関としてさらに充実・発展させるべく取り組みを進めた。また、昨今の厳しい歯科界の状況に鑑み、大学および附属病院ならびに専門学校の経営の更なる効率化に努めた。

最後に、創立100周年を機に、創立者藤原市太郎先生が遺された「博愛公益」の精神を本学の建学の精神として再確認し、学生教育に取り入れることとした。

本学の沿革

本学は、明治44年に設立された大阪歯科医学校を母体としている。大正6年には大阪歯科医学専門学校となり、昭和22年に旧制大阪歯科大学へ昇格し、昭和27年に新制大阪歯科大学となった。昭和36年に大阪歯科大学大学院歯学研究科博士課程を設置した。昭和39年に大阪歯科大学歯科技工士専門学校、昭和43年に大阪歯科大学歯科衛生士専門学校を設置した。

法人組織としては、大正6年に財団法人大阪歯科医学専門学校を設立した。昭和22年に財団法人大阪歯科大学、昭和26年に学校法人大阪歯科大学に変更となった。

平成9年4月、楠葉新学舎へ大学機能の移転を完了した。天満橋学舎に新附属病院本館を建設した。

平成23年11月、創立100周年記念式典を挙行了した。

平成23年度事業計画

- I. 教学（教育、研究）
- II. 大学院力の増強目標
- III. 教育人材育成力の改革
- IV. 附属病院の改革
- V. 両専門学校の将来像
- VI. 特別重点計画

I. 教学（教育、研究）

- 1. 募集ブランド力の向上
- 2. 入学時学力（第一次学力）
- 3. CBT学力（第二次学力）
- 4. 人間性涵養力（教育力）
- 5. 学士学力（第三次学力）

本学は「博愛公益」を最終目標としており、すぐれた歯科医師を養成することを通して広く社会貢献することが教育の目的である。そのため、教育および研究環境の整備に努めながら不断の教育改革を進めてきた。

平成14年度から「カリキュラム2000」を実施し、「知識教育」、「技能教育」、「態度教育」で構成され、臨床実習の開始を前にした第4学年次に臨床実習生としての能力を試す「共用試験（CBT、OSCE）」の実施へ向けて、学内環境の整備を行った。第5・6学年の講義のために平成25年3月完成の創立100周年記念館について、建設委員会を設置して鋭意検討を行い、一層

の教育環境の充実を図っていくものである。

○大学学部入試結果

歯科大学を志望する学生が減少する中、大学の認知度・好感度を向上させるべくオープンキャンパスを4回実施した。参加者の延べ人数は238名で、前年度の221名より17名増加した。オープンキャンパスでは、現役生による学生生活の話なども取り入れ本学への親近感を高める努力をしている。また、本学のHPやリクルート進学ネットに大学案内を掲載し、本学への注目度を高めネットを通じた入試資料要求も増加している。

入学者選抜方法としては、一般入学試験（前期・後期）、推薦入学試験（公募・指定校）であり、順調に実施された結果、128名の募集人員を充足した。また、新たに開始した編入学入学試験により、第2学年に4名が編入となった。入学者選抜方法は、学生確保の視点と歯科医師国家試験合格率の視点の両面から検証する必要がある、その結果を入試選抜方法（募集人数）にフィードバックさせることが重要である。

○アドミッションポリシーの改正とカリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの制定

入学生受け入れ基準としてのアドミッションポリシーは、従来から制定されていたが、創立100周年を経た教育実績を踏まえて今回改正した。

また、新たに教育課程編成・実施方針であるカリキュラムポリシーと、学位授与方針であるディプロマポリシーを制定した。

○アドミッションポリシー

大阪歯科大学は2011年に創立100周年を迎えました。

この歴史的歩みのなかで、歯科界に多くの優れた人材を輩出してきました。

私たちは、先輩が築いた礎を守りながら、建学の精神と歴史に裏付けられた教育方針に沿って、新時代の歯科医療を担う人材の養成を目指しています。

- ・ 歯科医師として社会に貢献し奉仕する使命感と気概を持つ人
- ・ 専門的知識、技能、態度を修得するために着実に努力する人
- ・ 国際的な視野に立って歯科医学の発展と歯科医療を担う熱意がある人

○カリキュラムポリシー

次の100年に向かって歯科医学・歯科医療を担う人材を養成します。

- ・知識、技能および人間性を具えた歯科医師の養成を行うカリキュラムを編成しています。
- ・学生が意欲をもって学習でき、国家試験への備えとしても万全の科目を設けます。
- ・学生中心主義に基づき、学生と教職員とのふれあいの場を数多く設置します。
- ・患者さんへの思いやりや温かな心をもった歯科医師の育成に必要な教育を行います。

○ディプロマポリシー

人間として、歯科医師として素養を高めた人材を輩出します。

- ・専門的知識、技能、態度を修得し、国民の健康な生活を確保する能力を身につけている。
- ・汎用能力および危機管理能力をもち、絶えず研鑽を積む習慣を身につけている。
- ・地球規模で新時代の歯科医学と歯科医療を構築する能力を身につけている。

○第105回歯科医師国家試験結果

新卒者は100名受験し合格者は64名で合格率64%、既卒者を含めると157名が受験し合格者が77名で合格率は49%であった。新卒者の私立歯科大学・歯学部の合格率は78.4%であった。合格率が低迷した原因を検証する必要がある。

○新カリキュラムの実施を検討、平成24年度導入を決定

平成14年から実施してきた「カリキュラム2000」について、カリキュラム委員会等で検討を重ねた結果、平成24年度入学生より「新カリキュラム」を実施することとなった。

新カリキュラムは、明確な学年制を敷いており、次の11のコースが基本構成となっている。

- (1) 態度教育、(2) 教養教育、(3) 語学・情報科学教育、(4) 基礎科学教育、(5) 基礎系歯科医学教育、(6) 社会系歯科医学教育、(7) 臨床系歯科医学教育、(8) 総合医学教育、(9) 第1～4学年歯科医学統合教育、(10) 歯科臨床教育、(11) 歯科医学統括教育

○段階的学力到達度について

入学時学力、C B T学力、学士学力と段階的に学生の学力到達度を向上すべく努力してきたが、今回の国試の結果を受け、さらに学年単位での到達目標を定め専門知識の習熟度を高めていく必要がある。

○学生生活指導

在学生の態度規範向上に関して、本学教員が、学生の登学時に楠葉学舎正門で挨拶を行う取り組みを行った。

平成23年6月に全学生を対象に薬物乱用防止講演会を実施した。

○学習機会の拡大・充実

本学図書館では、学習機会の拡大充実のため、開館時間の延長を継続している。なお、学生一人当たりの図書貸出冊数は14.8冊で、昨年度に引き続き私立歯科大学・歯学部中Aランクに位置している。

○学生の国際交流

平成23年度は、次の諸外国大学と学術交流協定を締結した。

- ・イギリス
カーディフ大学歯学部
キングス・カレッジ・ロンドン
- ・ハンガリー
ゼンメルヴァイス大学歯学部
- ・ベトナム
ハノイ医科大学

II. 大学院力の増強目標

1. 大学院生の入学倍増計画
2. 募集定員の拡大、社会人入学の拡大
3. 外国人入学・受入れの奨励
4. 専門医の課程、修士課程の増設

研究機関としての大学を活性化させるため、その中枢をなす大学院の増強計画に取り組んだ。大学院を充実させることは、将来の優れた研究者・教育者を確保し大学を発展させていくうえで重要な課題である。

大学院の定員（1学年30名）を充足させることが大学院の活性化を図る第一歩であるが、平成24年度は21名の入学となった。さらに、研究環境、

指導体制の充実を図り、募集定員の拡大、社会人入学を推進していく。

平成23年度から実施している外国人留学生特別選抜入試では、学術交流校である中国の大学から2名の学生が入学となった。

また、専門医コースの設置および修士課程の増設については、それぞれ設置に向けて検討を進めた。大学院修士課程については、大学院修士課程設置準備委員会が設置された。

本学大学院50周年記念講演会については、5回にわたり本学教員、大学院生の出席者のもとで開催された。また大学院FD研修会が10月21日（金）に行われ、教員29名が参加した。

- ・第1回 平成23年9月2日（金）15時～
「腫瘍血管特異性の解明と新たな血管新生阻害療法への応用」
樋口 京子 氏（北海道大学大学院歯学研究科特任准教授）
出席者数：教員5名、大学院生27名 計32名

- ・第2回 平成23年9月8日（木）15時～
「歯髄再生による新しい歯内治療法の開発」
中島 美砂子 氏（国立長寿医療研究センター 歯科口腔先進医療開発センター部長）
出席者数：教員12名、大学院生21名 計33名

- ・第3回 平成23年9月16日（金）15時～
「理系のための研究生活ガイド」
坪田 一男 氏（慶応義塾大学医学部 教授）
出席者数：教員11名、大学院生15名 計26名

- ・第4回 平成23年9月29日（木）15時～
「抗菌薬の考え方、使い方」
岩田 健太郎氏（神戸大学大学院医学研究科 教授）
出席者数：教員9名、大学院生21名 計30名

- ・第5回 平成23年10月6日（木）15時～
「HIV感染症・AIDSに対する治療薬の研究と開発：成功、失敗、そして挑戦」
満屋 裕明氏（熊本大学医学部 教授）
出席者数：教員14名、大学院生28名 計42名

Ⅲ. 教育人材育成力の改革

1. 教員評価－実施結果の分析と報奨・顕彰
2. 第5・6学年を天満橋学舎で一貫教育
3. 講義室・自習室の増設

教育人材育成力については、教員評価を実施し教員一人ひとりが教育力、教育方法の改善を図ってきている。また、臨床系教員が教育力を十分に発揮するため、5年生と6年生を天満橋学舎で一貫教育を行うべく講義室・自習室を整備した「創立100周年記念館」の建設計画を進めた。

また、教員の資質向上を図るFD研修会については、FD委員会が積極的に企画立案を行い、精力的に実施した。(資料)

—各種補助金・助成金関係—

○平成23年度における私立大学等経常費補助金

一般補助は、4億6504万7千円で、そのうち特別補助は、3806万1千円である。

内訳は次のとおりで多岐にわたっている。

- ・成長分野で雇用に結びつく人材の育成（社会福祉施設体験学習）
- ・大学等の国際交流の基盤整備への支援（留学生特別選抜）
- ・大学院における研究の充実（大学院歯学研究科）
- ・研究施設運営支援（中央歯学研究所）
- ・戦略的研究基盤形成支援（ハイテクリサーチセンター）
- ・産学連携の推進（知的財産委員会設置）

○平成23年度私立大学等研究設備整備費等補助金（私立大学等研究設備等整備費）

「次世代ゲノムシーケンサーシステム一式」

交付額：1,081万1千円

○平成23年度私立学校施設整備費補助金（私立学校教育研究装置等施設整備費（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費）

「コンピュータ教室・マルチメディア教室整備事業」

交付額：1,073万3千円

CBT、語学教育に対応する教室の整備事業に対する補助金である。

○平成23年度における科学研究費補助金

本学の交付状況は、次のとおりである。

基盤研究（C）33件、挑戦的萌芽研究1件、若手研究（B）17件、研究活動スタート支援1件、合計52件

補助金額 6,840万円

間接経費 2,052万円

合計 8,892万円

○文部科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業

平成19年度から5年度間にわたり行っているもので、事業名は「歯周病に対する戦略的研究」である。「歯周病とメタボリックシンドロームとの双方向性発症の解明」、「歯周組織の再生を促進する分子・細胞学的解明」について研究成果が得られつつある。研究活動の一層の発展を祈りたい。

○厚生労働省 生育医療研究委託事業費

（生育医療研究開発事業費）

1件 100万円

○独立行政法人科学技術振興機構 研究成果最適展開支援事業

（フィージビリティ【PS】ステージ 検索タイプ）

1件 130万7,693円

○公益財団法人 上原記念生命科学財団

（海外留学助成リサーチフェローシップ）

1件 250万円

○公益財団法人 住友財団「基礎科学研究助成」

1件 150万円

○公益財団法人 池谷科学技術振興財団「研究助成」

1件 130万円

○平成23年度における施設設備関係整備工事

天満橋学舎において、各医員の緊急連絡用としてPHSの導入が検討のうえ決定され、附属病院PHS新設工事が行われた。

○地域との交流

市民を対象とした公開講座（テーマ：「いつまでも魅力的であるために」）を開催した。

また、市民へのグラウンド（長尾）、テニスコート（楠葉）の開放、枚方市主催のシンポジウムへの会場提供（楠葉学舎講堂）などの施設開放、さらに枚方市にある6大学と市長で構成される「学園都市ひらかた推進協議会」、大阪府下の大学で構成される大学コンソーシアム大阪の取り組みに参加した。

IV. 附属病院の改革

1. 収支改善による健全経営戦略
2. 先進医療の態勢整備
3. 病院運営貢献者への顕彰・報奨
4. B/C考慮の支出、経費の見直し
5. 各部署の収支改善策を提案・実行

附属病院については、収支改善を目標に改革を進めてきており、平成23年度の病院収入については、大学全体の収支状況を考慮すると、さらに効率的な運営と抜本的な改革を進めていく必要がある。

病院運営の効率化・スピード化を図るため、現状の問題点を洗い出していく必要がある。収支改善に向けた意識を共有することにより、慣習化した体質を改善していかなければならない。病院の抜本的な改革を進めるため、新たに病院の経営改善を図る委員会の設置を検討した。

○歯科医師の派遣

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に際して、日本歯科医師会の要請を受けて、本学から歯科医師3名を現地へ派遣登録した。

継続している社会福祉法人阪神福祉事業団センター診療所、日本放送協会（大阪放送局）への派遣、白浜アドベンチャーワールドの動物歯科検診を行った。

○臨床研修教育

平成18年度から必修化された歯科医師臨床研修教育に関しては、制度発足当初から積極的に取り組んでいる。症例報告会が3月15日（木）に、修了証書授与式及び症例報告会の表彰が3月27日（火）に行われた。

修了者は、プログラムS（単独型）31名、プログラムC（複合型）88名、合計119名であった。研修歯科医受入施設は、55施設であった。

○病診連携講演会（懇談会）

平成23年度で9回目の講演会が、平成23年2月26日(日)に開催された。

○地域医療連携室の設置

大阪府等地域の歯科医院との連携を深めることを目的に平成23年4月から運営を開始した。年間紹介患者数は、約8,300名であり、連携への適格な情報管理が必要である。

○医療安全講習会、院内感染対策講習会等

医療安全、院内感染防止に関する取り組みは、昨年度に引き続き講習会が開催され、多数の教職員が参加した。

「医療安全のための研修」

「苦情対応技法のための研修」

「基本原因分析法のための研修」

「院内感染防止対策のための研修」

「医薬品安全のための研修」

「医療機器安全使用のための研修」

「総合医局会講演会・東日本大震災 歯科ボランティアに参加して」

○薬剤院外処方を導入

患者サービスの向上を図るべく、平成23年4月から実施された。

V. 両専門学校の将来像

1. 専門学校の大学・短大化に関する検討委員会への付託
2. 募集定員を減らすなど改善策を実施
3. 短大化の検討
4. 大学院修士課程へ接続

両専門学校の将来像については、大学・短大化に関する検討委員会に付託しており、大学を含めた総合的な歯科教育機関という枠組みの中で検討している。

歯科技工士専門学校の入学者は、平成22年24名、同23年19名と定員を大きく割っているため、平成23年度中に学則を変更（平成24年4月1日変更）し、平成24年度から募集定員を45名から30名に削減することとした。また、専門性を高めるため、教育課程の見直しを行った。すなわち、選択科目に選択コースとして、「セラミックコース」、「デンチャーコース」「ベーシックコース」の3コースを設けた。平成24年度の入学者は15名であった。

一方、歯科衛生士専門学校は、ここ3年間54名の入学者があり定員を充足している。優れた教育環境、教員人材を生かすべく周辺の学校訪問、HPのリニューアル、進学ネットへの掲載など学生を確保するための取り組みを進めた。

歴史と伝統のある医療系専門学校として、歯科技工士・歯科衛生士の国家試験合格率は、今年度も好成績を維持している。こうした実績を踏まえ、今後の改組転換に向けての方策を検討しつつある。

VI. 特別重点計画

1. 創立100周年記念事業の推進

- ①記念式典 平成23年(2011年)11月11日(金)
- ②本学発祥の地への記念碑設置
- ③記念事業募金
- ④天満橋学舎へ講義室建設(創立100周年記念館)
- ⑤出版物の刊行(大学100年史・大学院50年史)
- ⑥記念講演会 平成23年(2011年)11月12日(土)
- ⑦歯科医学の歴史的資料(史料)の収集

2. 第22回日本歯科医学会の主幹

1. 創立100周年記念事業の推進

○記念式典

平成23年11月11日、大阪国際会議場において教職員、学生、同窓生、来賓、招待者など1600名を超える出席者のもと盛大に開催された。また、同日、式典に先立ち記念慰霊祭、式典終了後にリーガロイヤルホテル大阪において祝宴が開催され、創立100周年記念式典は滞りなく終了した。

平成22年7月の第1回委員会から平成23年11月まで17回の委員会を開催し、記念式典、祝宴、慰霊祭の準備作業および記念ロゴマーク・マスコットキャラクターの選定作業と横断幕設置等の広報活動を行った。式典当日の準備作業として、海外および国内の招待者リスト化と招待状の発送・出欠の確認、タイムスケジュールの作成、記念品の選定、係員の配置、式次第の作成などを行った。また、同時に式典前日から行われる国際学術交流協定書の調印式および学術交流校との懇談会の準備も並行して進めた。

○本学発祥の地への記念碑設置

平成23年10月11日、大阪市福島区野田4丁目の野田緑道(公園)において、本学はじめ関係者46名の出席のもと、発祥の地記念碑除幕式が執り行われた。

平成22年7月の第1回委員会から平成23年8月まで5回の委員会を開催し、本学発祥の地の確定、記念碑の形状・内容および石材業者の選定、大阪市への許可申請、地元町会への説明と推薦依頼などの作業を行った。当地が大阪市の公有地であったため、大阪市への許可申請にあたり、地元町会から賛同の署名、福島区長の推薦を得て申請し、平成23年6月6日に大阪市長の設置許可が下りた。10月11日、当地において福島区長、前福島区長、野田4丁目町会長および町会の皆様にも出席願ひ、野田恵美須神社の神事により除幕式を行った。

○記念事業募金

「創立100周年記念館」建設のための募金を記念事業として行い、同窓生をはじめ教職員、父兄、専門学校卒業生、関連会社等に募金の依頼をした。募金期間終了後も募金が絶えず、募金件数は1800件を超え、募金金額は1億7千万円に達した。

平成22年7月の第1回委員会から平成23年11月まで7回の委員会を開催し、募金趣意書等の作成、依頼先の選定、芳名録、寄付者銘版、芳名録の広報誌等の掲載などについて審議し、作業を進めた。募金趣意書は同窓生、教職員、父兄、専門学校卒業生には郵送し、関係企業には郵送と委員が直接持参して寄付依頼をした。芳名録（永久保存版）の作成と創立100周年記念館内の寄付者銘版設置を残している。

○創立100周年記念館

平成23年5月に建設委員会を立ち上げ通算9回の委員会を開催し、建物の名称を「創立100周年記念館」とし、設計・監理会社を㈱日建設計、施工会社を西松建設㈱に決定した。これからの大学100年を担うシンボルとなる建物と位置づけ、既存の天満橋学舎附属病院本館の外観と調和しつつ、上町筋へ大学の新たな顔を創出するものである。この建物は、歯科医師国家試験を間近に控えた第5・6学年のための教育環境の改善に資するものである。

建物の概要は、鉄骨造地上4階建て、建築面積は792.94㎡となっており、完成は平成25年3月の予定である。

階数	床面積	用途
1	731.10㎡	エントランスホール、事務室、応接室
2	703.34㎡	小講義室、講師控室、ゼミ室
3	699.98㎡	中講義室、ゼミ室、講師控室
4	747.86㎡	大講義室（251席+補助席27席）

○出版物の刊行（大学100年史・大学院50年史）

創立100周年の記念誌として、「大学100年史」「大学院50年史」等出版物の刊行を担当した。

平成22年3月の第1回委員会から平成24年3月まで25回の委員会を開催し、「大学100年史」「大学院50年史」「100周年記念の葉」とともに学生向けの自校史を作成することとなった。執筆・編集作業に時間を要する「大学100年史」の完成目途を平成24年9月とし、現在も月1回のペースで編集委員会を開催している。記念式典用の出版物として「大阪歯科大学のあゆみ」の編集作業を進め、平成23年10月に完成し式典の記念品とした。

○記念講演会

平成23年11月12日、リーガロイヤルホテル大阪において開催され、教職員、同窓生、学生および専門学校生など約600名が出席した。学术交流協定校の6名の先生ならびに理化学研究所の西川伸一先生、建築家の安藤忠雄先生が講演した。

平成22年8月の第1回委員会から平成23年11月まで8回の委員会を開催し、講演内容と講演者の選定および講演会プログラム・ポスターの作成などについて検討した。講演内容については、①「世界の歯科大学における近未来戦略」の共通タイトルで学术交流協定校に講演依頼、②歯科界の将来・研究臨床の方向、③日本の将来（文化人による講演）の3つの主題を決定した。①については、コロンビア大学、シドニー大学、キングス・カレッジ・ロンドン、西安第四軍医大学、慶熙大学校歯科大学、台北医学大学の6大学から了解を得、②は理化学研究所の西川伸一先生、③は建築家の安藤忠雄先生に講演を依頼し承諾を得た。

○歯科医学の歴史的資料（史料）の収集

平成23年10月29日から11月30日まで楠葉学舎4号館において「歯科医学の歴史的資料展示室」を開館した。本学の歴史をパネルで紹介するとともに同窓生などから収集した年代ものの歯科器具、診療台などを展示した。

平成22年8月の第1回委員会から平成23年10月まで16回の委員会を開催し、歴史的資料の収集・選定を行った。委員会では、これまで収集し牧野学舎に保管している資料に加えて同窓生などから新たに歴史的な資料を収集し、整理・調整のうえ一部を楠葉学舎4号館2階の史料室に展示することとした。同時に、本学の歴史を5つに時代区分してパネルにより説明文と写真で紹介することとした。平成23年10月28日、「歯科医学の歴史的資料展示室」の開所式を行った。

2. 第22回日本歯科医学会総会の主幹

大阪市での開催は、実に21年ぶりとなる今回の総会は、「お口の健康 全身元気—各世代の最新歯科医療—」をメインテーマに、平成24年11月9日(金)から11日(日)まで、インテックス大阪、リーガロイヤルホテル、グランキューブ大阪の3会場で開催される。

開会講演は、山中 伸弥先生(京都大学iPS細胞研究所所長)が行うことになっている。また、期間中は、シンポジウム、歯科衛生士・歯科技工士セッション、国際セッション、公開フォーラム、テーブルクリニック、ポスターセッション、専門分科会、認定分科会によるセミナーなど、多彩な内容で開催すべく現在準備中である。

[附属資料]

1. 平成 23 年度学生数 () は女子 (平成 23 年 5 月 1 日現在)

大学	第 1 学年	1 3 2 (6 0)	大学院	第 1 学年	3 0 (1 3)
	第 2 学年	1 3 8 (5 5)		第 2 学年	2 4 (1 2)
	第 3 学年	1 3 8 (5 6)		第 3 学年	2 4 (1 0)
	第 4 学年	1 3 3 (4 7)		第 4 学年	<u>2 7 (1 1)</u>
	第 5 学年	1 2 0 (4 6)			1 0 5 (4 6)
	第 6 学年	<u>1 3 6 (5 7)</u>			
		7 9 7 (3 2 1)			

歯科技工士専門学校	1 年	1 9 (6)	専攻科 1 年	1
	2 年	<u>2 4 (6)</u>	専攻科 2 年	<u>2</u>
		4 3 (1 2)		3

歯科衛生士専門学校	1 年	5 4 (5 4)
	2 年	4 7 (4 7)
	3 年	<u>2 5 (2 5)</u>
		1 2 6 (1 2 6)

2. 第 105 回歯科医師国家試験の結果 平成 24 年 3 月 19 日合格発表

	(総 数)			(新 卒)			(既 卒)		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
本学	157	77	49.0	100	64	64.0	57	13	22.8
全国	3,326	2,364	71.1	2,311	1,882	81.4	1,015	482	47.5

3. 平成 24 年度入学試験状況

		(志願者)	(合格者)	(入学者)
[大学]	推薦入試	4 0	3 7	} 1 2 8
	一般入試 (前期)	1 7 1	8 8	
	一般入試 (後期)	4 1	3	
	編 入 学	1 0	5	4
[大学院]	一般入試 (一次)	9	9	} 2 1
	一般入試 (二次)	9	9	
	一般入試 (三次)	1	1	
	外国人留学生特別選抜	3	3	
[歯科技工士専門学校]	歯科技工士学科	1 9	1 9	1 5
	専攻科	5	5	5
[歯科衛生士専門学校]		6 4	5 4	5 4

4. 建学の精神（平成23年6月23日付修正）
歯科医学・医療に関する専門知識、技術の習得と共に、思いやりの心を涵養し、自らの選んだ道に深い使命感をもって、社会に対する奉仕的人生観を体得して、「博愛」と「公益」に努める。
5. カリキュラムポリシー制定（本文参照）
6. ディプロマポリシー制定（本文参照）
7. 大学院アドミッションポリシー制定
 1. 口腔科学に探究心をもつ人
 2. 高い倫理観とコミュニケーション能力を備えている人
 3. 幅広い視野をもち、創造性とチャレンジ精神に富む人
 4. 自ら問題を発見し、解決する力を備えている人
 5. 国際的視野と語学力を身に付け、国際貢献を目指す人
8. 大学・大学院入学式 平成23年4月5日（火）午前10時（於：楠葉学舎）
9. 平成22年度会計実査 平成23年4月5日（火）
10. 平成23年度大学新入生研修
 - 平成23年4月6日（水）午前9時（於：牧野学舎）
 - 4月7日（木）午前9時（於：楠葉学舎）
11. 平成23年度FD研修会
 - ・第1回 平成23年4月27日（水）午後5時10分～（於：天満橋学舎）
「平成23年度CBTに関するFDセミナー」
 - ・第2回 平成23年7月30日（土）午前9時～午後5時
「授業づくりワークショップ」 55名出席（於：楠葉学舎）
 - ・第3回 平成23年8月26日（金）、27日（土）
「多様化する学生への対応 ～カウンセリングの基本～」
51名出席（於：ホテルコスモスクエア国際交流センター）
 - ・第4回 「歯学系CBT問題作成に関するワークショップ
～MCQ問題作成のためのベーシックコース～」
[講演] 平成24年2月2日（木）午後5時10分～午後6時40分
14名出席（於：天満橋学舎）
平成24年2月3日（金）午後5時～午後6時30分
16名出席（於：楠葉学舎）

[ワークショップ]

平成24年2月25日(土) 午前9時～午後5時10分
27名出席(於:楠葉学舎)

【大学院】

- ・平成23年10月21日(金) 午後3時～
「インパクトファクター0.672を獲得したJ. of Hard Tissue BiologyとGP
申請のコツ」 教員29名出席(於:楠葉学舎)

12. 体育総会 平成23年5月14日(土)(於:楠葉学舎)
13. 平成22年度監事監査 平成23年5月16日、17日(於:楠葉学舎)
14. 解剖体慰霊祭 平成23年5月20日(金) 午後2時(於:四天王寺)
15. オープンキャンパス(於:楠葉学舎)
 - ・第1回 平成23年5月29日(日) 午後1時～午後4時 41名参加
 - ・第2回 平成23年7月26日(火) 午後1時～午後4時 63名参加
 - ・第3回 平成23年8月19日(金) 午後1時～午後4時 80名参加
 - ・第4回 平成23年10月29日(土) 午前10時～午後12時10分 54名参加
16. スチューデントアシスタントの採用
7名(1年2名、2年3名、4年1名、5年1名)を採用
17. 大学特待生の採用
第3学年1名、授業料100万円免除
第4学年2名・第6学年2名、授業料半額免除
18. 大学学内奨学生選考
8名の学生に対して総額6,900,000円の奨学金を貸与
19. 平成23年度教職員子弟の大学授業料減免
7名減免 計7,000,000円
20. 平成23年度共用試験歯学系CBT並びにOSCE
 - 【第5学年】
 - ・CBT 平成23年6月7日(火) 午前9時30分(於:楠葉学舎)
 - ・OSCE 平成23年6月19日(日) 午前9時(於:天満橋学舎)
 - 【第4学年】
 - ・CBT 平成24年3月2日(金) 午前9時30分(於:楠葉学舎)

- ・ O S C E 平成 24 年 3 月 18 日 (日) 午前 9 時 (於：天満橋学舎)
- 21. 平成 23 年度薬物乱用防止に関する講演会
 - 平成 23 年 6 月 24 日 (金) 午後 4 時 10 分 (於：楠葉学舎講堂)
 - 講師 ・枚方警察署生活安全課 山根 一雄 警部補
 - ・大阪府警察本部刑事部薬物対策課 山川 健治 警部補
 - 対象者：全学年・大学院生・教職員、約 600 名出席
- 22. 大学父兄会・共済会総会 (於：楠葉学舎)
 - 平成 23 年 7 月 2 日 (土) 午後 1 時 父兄出席者数 284 名
- 23. 第 43 回全日本歯科学学生総合体育大会 (当番校：日本歯科大学生命歯学部)
 - 平成 23 年 8 月 1 日 (月) ～12 日 (金)
- 24. 第 6 学年父兄懇談会 (於：楠葉学舎)
 - 平成 23 年 8 月 21 日 (日) 午後 1 時 父兄出席者数 62 名
- 25. 平成 23 年度地方父兄会 (山陽地区：岡山・広島・山口県)
 - 平成 23 年 8 月 28 日 (日) 午後 1 時 19 名出席 (於：ホテルグランヴィア岡山)
- 26. 大学院 50 周年記念講演会 (本文参照)
- 27. 第 19 回公開講座
 - ・メインテーマ 「いつまでも魅力的であるために」
 - ・日程 天満橋講座 平成 23 年 9 月 10 日 (土)
 - 受講者 150 名 (於：天満橋学舎)
 - 枚方講座 平成 24 年 2 月 25 日 (土)、3 月 3 日 (土)
 - 受講者延べ 267 名 (於：楠葉学舎)
 - (時間はいずれも午後 1 時～午後 3 時 30 分)
- 28. 平成 23 年度大学祭 (テーマ：100)
 - ・体育祭 平成 23 年 10 月 22 日 (土) (於：牧野学舎)
 - ・文化祭 平成 23 年 10 月 29 日 (土)、30 日 (日) (於：楠葉学舎)
- 29. 実験動物慰霊祭 平成 23 年 11 月 25 日 (金) 午後 1 時 30 分 (於：牧野学舎)
- 30. 平成 23 年度自衛消防訓練

楠葉学舎	平成 23 年 11 月 30 日 (水)
牧野学舎	平成 23 年 12 月 2 日 (金)
天満橋学舎	平成 23 年 10 月 31 日 (月)

31. 平成 23 年度全学教職員忘年慰労会 平成 23 年 12 月 28 日 (於：天満橋学舎)
32. 平成 24 年新年互礼会 平成 24 年 1 月 5 日 (於：楠葉学舎)
33. 平成 23 年度解剖体遺骨返還式 (於：楠葉学舎)
平成 24 年 3 月 1 日 (木) 午後 2 時 19 分
34. 平成 23 年度卒業式並びに大学院学位認証式
平成 24 年 3 月 9 日 (金) 午前 10 時 (於：楠葉学舎)
35. 平成 23 年度歯科医師臨床研修修了証書授与式
平成 24 年 3 月 27 日 (火) 午後 2 時 30 分 (於：天満橋学舎)
36. 平成 24 年度臨床研修歯科医の募集定員
単独型研修方式 40 名、複合型研修方式 120 名
37. 平成 23 年度スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム (SCRIP)
日本代表選抜大会にて第 5 学年・竹内 大智さんが総合 3 位 (臨床部門第 2 位)
研究テーマ「香り成分による口腔ケアを指向した携帯加湿器の試作と研究」
38. 第 4 学年自習室の開室 (楠葉学舎)
 - ・ 2 号館 4 階第 4 学年自習室 (36 席) (旧実習用ロッカー室)
 - ・ 1 号館 3 階東側ラウンジ 自習スペース (12 席)
39. 創立 100 周年記念事業 (本文参照)
40. 学位授与
 - 学位記番号 甲第 665 号～ 691 号 27 名に学位記授与
 - 学位記番号 乙第 1556 号～1573 号 18 名に学位記授与
41. 平成 23 年度法人理事会・法人評議員会・主任教授会・教授会・大学院研究科会議
 - 1) 法人理事会 15 回開催
(平成 23 年 4 月 27 日、5 月 26 日(2 回)、6 月 23 日、7 月 28 日、
8 月 25 日、9 月 29 日、10 月 27 日、11 月 24 日、12 月 28 日、
平成 24 年 1 月 26 日、2 月 23 日、3 月 2 日 (持回り) 3 月 22 日(2 回))
 - 2) 法人評議員会 2 回開催
(平成 23 年 5 月 26 日、平成 24 年 3 月 22 日)
 - 3) 主任教授会 24 回開催
(平成 23 年 4 月 13 日、5 月 11 日、5 月 25 日、6 月 10 日、6 月 22 日、

7月13日、8月10日、9月14日、10月12日、10月26日、11月9日、
11月16日、11月22日、11月30日、12月14日、12月27日、
平成24年1月11日、1月25日、2月2日、2月8日、3月7日、
3月14日、3月21日、3月29日)

4) 教授会 2回開催

(平成23年4月13日、平成24年3月29日)

5) 大学院研究科会議 16回開催

(平成23年4月20日、5月25日、6月22日、7月25日、8月22日、
9月28日、10月12日、10月26日、11月16日、11月22日、
12月27日、平成24年1月25日、2月8日、2月22日、3月14日、
3月21日)

42. 本学関係 褒章・叙勲の受章者等

1) 褒章

大学19回 村上 英夫 兵庫県 藍綬褒章

2) 叙勲

専門32回 高木 順彦 奈良県 瑞宝中綬章 共10名

3) 2011年国際歯科研究学会 (IADR) 優秀科学者賞受賞 大浦 清 教授

43. 教職員数 (平成24年3月1日現在: 389名)

1) 大学 372名

教員数 196名

学長1名、主任教授24名、専任教授5名、准教授32名、講師61名、
助教71名、病院教授2名

職員数 176名

事務・技術77名、医療98名、労務1名

2) 歯科技工士専門学校 9名

教員7名、事務2名

3) 歯科衛生士専門学校 8名

教員6名、事務2名

44. 人事

1. 理事長再任 川添 堯彬 (任期: 平成23年10月1日~平成26年3月31日)

2. 学長再任 川添 堯彬 (任期: 平成23年10月1日~平成27年9月30日)

3. 法人関係

1) 理事再任 川添 堯彬 (任期: 平成23年10月1日~平成27年9月30日)

2) 評議員委嘱 小谷 順一郎、川合 進二郎、清水谷 公成

(任期: 平成23年5月26日~平成26年3月31日)

3) 法人顧問委嘱 上田 雅俊、増田 次郎

- 4) 死亡退任 法人評議員 新田 孟 (平成 23 年 12 月 8 日付)
4. 名誉教授称号授与 豊田 紘一、大東 道治、上田 雅俊
5. 退職
- 1) 定年退職
歯科衛生士専門学校 教務主任 田中 照代 共 8 名
- 2) 依願退職
有歯補綴咬合学講座 講師 更谷 啓治 共 17 名
- 3) 任期制教員任期満了退職
口腔衛生学講座 助教 神 光一郎 共 3 名
- 4) 死亡退職
専門学校事務室 事務長 東野 隆 (平成 24 年 2 月 20 日付)
6. 昇任
- 1) 専任教授
人権教育室 倫理学教室准教授 樫 則章 共 2 名
- 2) 退職に伴う准教授特別昇任
有歯補綴咬合学講座 講師 更谷 啓治 共 3 名
- 3) 講師
物理学教室 助教 一宮 正義 共 9 名
- 4) 職員
法人事務局長 長谷山 則夫 共 5 名
7. 任用
- 1) 主任教授
歯周病学講座 歯学博士 梅田 誠 共 2 名
- 2) 専任教授
口腔インプラント科 博士 (歯学) 馬場 俊輔
- 3) 准教授移行任用
口腔インプラント科 病院准教授 井上 雅裕 共 2 名
- 4) 講師
人権教育室 修士 (法学) 李 嘉永
- 5) 助教
生理学講座 博士 (歯学) 諏訪部 武 共 6 名
- 6) 海外留学経験者特別助教採用
口腔インプラント科 博士 (歯学) 上村 直也
- 7) 大学院教授
歯周病学 大学主任教授 梅田 誠 共 2 名
- 8) 臨床教授
口腔インプラント科 江藤 隆徳
- 9) 専門学校教員
歯科衛生士専門学校 助手 岡田 容梨子

- 10) 職員
 附属病院 放射線技師主任 笹垣 三千宏 共5名
8. リサーチ・アシスタント採用
 口腔外科学第二 RA 後藤 倫子 共3名
9. 所属異動
 法人事務部 小谷 泰生 共10名
10. 兼務 医事課地域医療連携室担当 課長 今道 裕之
11. 委嘱
- 1) 大学役職者 (平成23年4月1日付)
 - 副学長 諏訪 文彦
 - 学生部長 川合 進二郎
 - 附属病院副病院長 田中 昌博
 - 2) Honorary Visiting Professor
 英国ロンドン大学キングスレッジ GKT 歯学部 歯学部長 Nairn F Wilson 共2名
 - 3) 客員教授
 大阪歯科大学附属病院 元病院教授 北條 博一 共7名
 - 4) Visiting Professor
 韓国慶熙大学校歯科大学 主任教授 朴 榮國 共7名
 - 5) 客員講師
 大阪厚生年金病院麻酔科 主任部長 永田 昇
 - 6) 平成23年度講師 (非常勤) 解剖学講座 清水 孝治 共399名
 (平成23年4月1日付)
 - 7) 嘱託 医療法人稲門会 岩倉病院 精神科医 森 悦子 共17名
 - 8) 病院医員61名
 - 9) 治験委員会外部委員
 千葉大学法経学部 教授 植木 哲
 - 10) 平成23年度ポストドクトラルフェロー
 歯科麻酔学 博士 (歯学) 稲村 吉高 共2名
 - 11) 各種委員会委員長
 - (1) 大学関係 (平成23年4月1日付)
 - ・学生部委員会委員長 川合 進二郎
 - ・サイバーキャンパス審議委員会委員長 山本 一世
 - ・ホームページ委員会委員長 山本 一世
 - (2) 法人関係
 - ・予算委員会委員長 下村 錢三郎
 - ・個人情報保護委員会大学部門委員会委員長 諏訪 文彦
 - 12) 学年指導教授・助言教員・特別アドバイザー (平成23年4月1日現在)
 学年指導教授 1年 藤原 眞一、2年 西川 泰央、3年 武田 昭二
 4年 松本 尚之、5年 山本 一世、6年 岡崎 定司

- 助言教員 1年 一宮 正義 共8名、2年 戸田 伊紀 共10名
 3年 西川 哲成 共8名、4年 川崎 弘二 共8名
 特別アドバイザー 2年 藤原 眞一 共2名
 5年 井関 富雄 共13名、6年 竹村 明道 共22名
- 13) 平成23年度学友会会長 主任教授 佐ノ木 幸夫

45. 学外活動

1) 教授海外視察

口腔治療学講座 主任教授 林 宏行

2) 教員海外研修

口腔病理学講座 助教 益野 一哉 共3件

3) 教員海外出張

高齢者歯科学講座 主任教授 小正 裕 共96件

4) 共同研究員受入

大阪医科大学 麻酔学教室 大学院生 塩見 真由美 (継続)

受入講座：内科学講座 (期間：平成23年4月1日～平成24年3月31日)

5) 外国人研究員受入

Esmeralda Da Natividade Social Health Center

Trainee (研修生) Gabriela Laranjeira Abe

受入講座：口腔衛生学講座

期間：平成23年4月18日～平成24年1月31日 共3件

6) 国際交流

(1) 中国5大学との共同研究

・受入

西安第四軍医大学口腔医学院 1名 (期間：平成23年9月20日～10月11日)

・派遣

四川大学華西口腔医学院 (期間：平成23年11月20日～27日)

生理学講座 内橋准教授、井上講師

(2) 新海外学術交流協定校

・Faculty of Dentistry, Semmelweis University (平成23年7月7日締結)

・Hanoi Medical University (平成23年11月10日締結)

・School of Dentistry, Cardiff University (平成23年11月10日締結)

・King's College London, University of London

(平成23年11月11日締結)

(3) 海外協定校との学生交流

・受入

上海交通大学口腔医学院 学生5名、教員1名

(期間：平成23年12月11日～17日)

ゼンメルヴァイス大学歯学部 学生 2 名

(期間：平成 24 年 3 月 26 日～30 日)

・派遣

上海交通大学口腔医学院 学生 3 名 (3 年 2 名、4 年 1 名)

引率教員：永木助教 (期間：平成 23 年 7 月 11 日～17 日)

シドニー大学歯学部 学生 4 名 (3 年 4 名)

引率教員：秋山(広)助教 (放射線)、上村(直)助教

(期間：平成 23 年 8 月 5 日～15 日)

コロンビア大学歯学部 学生 4 名 (5 年 4 名)

引率教員：山本講師、蒲生助教 (放射線)

(期間：平成 24 年 3 月 10 日～20 日)

46. 補助金・助成金

- 1) 平成 23 年度大阪歯科大学学術研究奨励助成金交付 (10 件)

助成金交付額 3,500,000 円

- 2) 平成 23 年度科学研究費補助金交付 (文部科学省)

・基盤研究 (C) 33 件

・挑戦的萌芽研究 1 件

・若手研究 (B) 17 件

・研究活動スタート支援 1 件 計 52 件 補助金交付額 68,400,000 円

(間接経費 20,520,000 円 合計 88,920,000 円)

- 3) 平成 23 年度私立大学等経常費補助金交付額 465,047,000 円

- 4) 平成 23 年度私立大学等研究設備整備費等補助金 (私立大学等研究設備等整備費)

「次世代ゲノムシーケンサーシステム一式」 交付額 10,811,000 円

- 5) 平成 23 年度私立学校施設整備費補助金 (私立学校教育研究装置等施設整備費)

(私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費)

「コンピュータ教室・マルチメディア教室整備事業」 交付額 10,733,000 円

- 6) 平成 23 年度臨床研修費等補助金交付額 132,000,000 円

- 7) 国際交流助成

生理学講座 准教授 内橋 賢二 共 31 名に対し 7,738,105 円の助成

- 8) 寄贈

大阪歯科大学紫媛会 共 7 件合計として 6,400,000 円

47. 諸規程

- 1) 学校法人大阪歯科大学給与規程 (一部改正)

- 2) 学校法人大阪歯科大学定年退職者の再雇用に関する規程 (一部改正)

- 3) 学校法人大阪歯科大学利益相反ポリシー (施行)

- 4) 学校法人大阪歯科大学利益相反検討管理規程 (施行)

- 5) 大阪歯科大学大学院学則 (一部改正)

- 6) 大阪歯科大学国際交流部委員会規程（一部改正）
 - 7) 大阪歯科大学奨学金に関する申し合わせ事項（一部改正）
(以上 平成 23 年 4 月 1 日付)
 - 8) 学校法人大阪歯科大学就業規則（一部改正）
(平成 23 年 6 月 1 日付)
 - 9) 大阪歯科大学中央歯学研究所管理運営規程（一部改正）
(平成 23 年 6 月 10 日付)
 - 10) 大阪歯科大学附属病院医療安全管理委員会規程（一部改正）
(平成 23 年 9 月 14 日付)
 - 11) 学校法人大阪歯科大学教員の定員等に関する規程（一部改正）
(平成 23 年 11 月 24 日付)
 - 12) 大阪歯科大学奨学金貸与規程（一部改正）
(平成 23 年 10 月 27 日付)
 - 13) 大阪歯科大学バイオセーフティー委員会規程（施行）
(平成 23 年 12 月 14 日付)
 - 14) 通勤手当支給内規（一部改正）
(平成 24 年 1 月 1 日付)
 - 15) 研修医（非常勤）規程（一部改正）
(平成 24 年 1 月 11 日付)
48. 東日本大震災義援金等
- ・ 第二次募金「日本歯科医師会経由」（募集期間：4 月 14 日～5 月 25 日）
240 件、総額 610,991 円
 - ・ 支援物資として歯ブラシ 2 万本を岩手、宮城、福島各県歯科医師会へ寄付